

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	新水道ビジョンに基づく水道事業基盤強化の検討調査費			担当部局庁	健康局	作成責任者		
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	水道課	水道課長 宮崎 正信		
会計区分	一般会計			政策・施策名	II-2-1 安全で質が高く災害に強い水道を確保すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	新水道ビジョン			
主要政策・施策	国土強靱化			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成25年3月に策定した、新水道ビジョンのフォローアップに資するデータの整理を行う。また、新水道ビジョンに基づく取組の促進を加速化させるため、各地域における水道事業者の横の連携を促進し、優良な取組の全国展開を図る。さらには、新水道ビジョン策定後においても取組が停滞している様々な水道事業基盤強化に関する課題とその対応方策について、有識者も交えた場において、今後継続的に状況の分析と要因の検証、新水道ビジョンの見直しも含めた検討を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・新水道ビジョンのフォローアップに資するデータの調査・整理 ・取組の方向性の確認、重点的な実現方策の追加、見直し等について、適切な期間においてフォローアップを実施 ・新水道ビジョンの各種方策の実施団体との進め方に関する協議会を実施 ・全国各地の水道事業者等による取組の情報を共有し、地域内の連携を図る懇談会を実施 ・有識者を交え、広域化の推進、水道施設の更新、水道料金改定等、重要施策に関する各種方策の検討を実施 							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額 (単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	6	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	0	0	0	6	
	執行額	-	-	-	-	-		
執行率(%)	-	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 30年度
	都道府県における都道府県水道ビジョンの策定	都道府県水道ビジョン策定率	成果実績	-	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	100
			達成度	%	-	-	-	-
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 30年度
	事業者による水道事業ビジョンの策定	水道事業ビジョン策定率	成果実績	-	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	100
			達成度	%	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト=X/Y X:執行額 Y:都道府県水道ビジョン累計策定数		単位当たりコスト	-	-	-	-	-
			計算式	X/Y	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト=X/Y X:執行額 Y:水道事業ビジョン累計策定数		単位当たりコスト	-	-	-	-	-
			計算式	X/Y	-	-	-	-
平成27-28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	食品等試験検査費	0	6					
	計	0	6					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	現在、高度経済成長期に整備された水道事業の管路や施設が更新時期を迎えているものの、水道管路の更新が十分になされていない。このような背景のもと、今後老朽化施設の更新需要が増大していく中で、人口減少社会の突入に伴い給水収益が先細りになることが見込まれる中で、個々の水道事業の運営状況を踏まえ、国民の生活に必要な不可欠な水道事業の持続性の確保を検討することは、国民や社会のニーズが非常に高い事業であると言える。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	老朽化が進行するとともに、耐震性の低い施設が残置している問題は全国的に見られる課題であり、施設の維持管理、適正な施設更新による持続可能な水道事業のあり方を示すことは、全国一律に行うべきものであり、国が実施すべき事業といえる。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	人口減少社会に突入することに伴う各課題に対する方策を示し、それを各地域の事業体、各関係団体への浸透を図り、将来に渡り強靱で持続的な水道を確保することは、優先度が非常に高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 6.5百万円

- ・新水道ビジョンについて、取組の方向性、重点的な実現方策等について、適切な期間においてフォローアップを実施
- ・新水道ビジョン推進に関する関係団体との協議会及び各地の水道事業者等との懇談会を実施
- ・有識者を交え、広域化の推進、水道施設の更新、水道料金改定等、重要施策に関する各種方策の検討を実施



【一般競争入札】

6.5百万円

- ・新水道ビジョンのフォローアップに資するデータの調査・整理
- ・協議会、懇談会、検討会開催における調整・補助等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補
足する)
(単位:百万円)